

FILMEDU AI



BACK TO THE FUTURE

バック・トゥ・ザ・フューチャー

未来を変えるのは、タイムマシン？それとも人？

先生用 授業ガイド（授業前に読む研究資料）

社会・道徳・総合的な学習・メディアリテラシーを横断する映画授業のために

1955 | 1985 | 2015

0 この教材について

ABOUT THIS GUIDE

本ガイドは、映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』（1985年／アメリカ）を使い、小学校高学年から中学生を対象に「過去と今と未来はどうつながっているのか」「未来を変えるのは何か」を考えるための、先生向けの授業前資料です。作品情報、映画が描く3つの時代、同じころの日本、監督・俳優の経歴、制作の裏話、発問例などをまとめています。

使い方のポイント：この映画を「タイムマシンのSF」だけで終わらず、「**30年で暮らしはどれだけ変わるか**」という歴史の視点と、「**人は自分の行動で変われるか**」という道德の視点の2本柱で扱くと、社会科・道徳・総合的な学習の時間まで一本につながります。

著作権・出典・AI表記について：本教材にはポスター・スチル写真・俳優の写真を一切使用していません。図版はすべてオリジナルです。作品の基本情報（公開日・スタッフ・受賞・キャストの経歴など）は公開情報をもとにウェブで事実確認しています。また、本文はAIを活用して作成し、公開前に人の手で事実確認・編集を行っています。

1 授業の基本設計

LESSON DESIGN

テーマ

板書は「30年前の世界に行けたら、何に一番おどろく？」から始めます。最後に「未来を変えるのに、タイムマシンは本当に必要？」と同じ形の問いで締めると、見る前と見た後で考えがどう動いたかを子ども自身が確かめられます。

対象

小学校高学年（4～6年生）～中学生。高学年では「時代による暮らしの違い」と「ジョージの変化」まで、中学生では「プラザ合意と円高」など社会科の知識や、タイムパラドックスの論理まで扱えます。

時間

本編は約1時間56分。45分×3コマ、または90分×2回を想定。1回目に導入＋前半視聴、2回目に後半視聴＋話し合い、が扱いやすい構成です。名場面を選んで抜粋視聴する方法もあります。

授業の流れ（6つの段階）

1. 30年前を想像する（車・テレビ・音楽・服装）
2. 1955年のヒルバレーを観察する（映画の中の「時代」を探す）
3. マーティの行動で何が変わった？（原因と結果）
4. ジョージはどこで、どう変わった？（人は変われるか）
5. 同じころの日本はどうだった？（1955年と1985年の比較）
6. 未来をつくるのは何か？（自分の生活と結びつける）

2 作品の基本データ

THE FILM

『バック・トゥ・ザ・フューチャー (Back to the Future)』

公開：アメリカ 1985年7月3日／日本 1985年12月7日 上映時間：約1時間56分

監督：ロバート・ゼメキス 脚本：ロバート・ゼメキス、ボブ・ゲイル

製作：ボブ・ゲイル、ニール・キャントン

製作総指揮：スティーヴン・スピルバーグ、キャスリーン・ケネディ、フランク・マーシャル

音楽：アラン・シルヴェストリ 撮影：ディーン・カンディ 視覚効果：ILM

出演：マイケル・J・フォックス（マーティ）、クリストファー・ロイド（ドク）、リー・トンプソン（ロレイン）、クリスピン・グローヴァー（ジョージ）、トーマス・F・ウィルソン（ピフ）

アメリカでは1985年に最も興行収入をあげた作品となりました。第58回アカデミー賞では脚本賞・音響賞・音響効果編集賞・歌曲賞（「The Power of Love」）の4部門にノミネートされ、**音響効果編集賞**を受賞しています。2007年には、文化的・歴史的に重要な映画としてアメリカ議会図書館の「アメリカ国立フィルム登録簿」に選ばれました。続編『PART2』（1989年）、『PART3』（1990年）と合わせて三部作になっています。

注意：制作総指揮のスピルバーグを「製作（プロデューサー）」と紹介している資料がありますが、正式なクレジットでは製作はボブ・ゲイルとニール・キャントン、スピルバーグは製作総指揮です。

3 あらすじと物語の核心

STORY

1985年、カリフォルニアの架空の町ヒルバレー。音楽が大好きな高校生マーティ・マクフライは、友人の発明家ドク（エメット・ブラウン博士）が自動車デロリアンを改造して作ったタイムマシンの実験に立ち会います。思わぬ事件から一人でデロリアンに乗り込んだマーティは、30年前の1955年へ飛ばされてしまいます。

そこで出会ったのは、高校生だった父ジョージと母ロレイン。ところがマーティが二人の出会いのきっかけを邪魔してしまったため、両親が結ばれず、自分が生まれない未来になりかけます。マーティは1955年の若いドクの力を借りて、時計台に落ちる雷のエネルギーで1985年に戻る計画を立てながら、両親を結びつけるために奔走します。

物語の核心：この映画で未来を変えたのは、実はタイムマシンそのものではありません。気弱だったジョージが**自分の意志で一歩をふみ出した**ことが、家族の未来を大きく変えます。「道具」ではなく「人の選択」が未来をつくる——ここが授業で最も伝えたい点です。

4 映画が描く3つの時代

THREE ERAS

時代	映画の中での位置	授業で見てほしいところ
1955年	マーティが迷い込む過去。両親が高校生だった時代	車・服装・音楽・お店・値段。「新しいもの」へのおどろき
1985年	マーティの「現在」。映画が作られ公開された年	当時の若者文化（ロック、スケートボード、ビデオ）
2015年	続編『PART2』（1989年）でマーティが訪れる未来。到着日は10月21日	1980年代の人が想像した未来と、実際の2015年とのちがい

大切なのは、**物語の中の出来事と実際の歴史を区別**することです。ヒルバレーは架空の町で、登場人物や出来事も創作です。撮影はユニバーサル・スタジオの屋外セット（町の広場）などで行われました。ただし町並みや流行には、当時のアメリカの文化や社会の特徴が反映されています。

5 1955年のアメリカ

CONTEXT | 1955

① 戦争が終わり、豊かさが広がった

第二次世界大戦後のアメリカは世界有数の経済大国となり、自動車・テレビ・冷蔵庫などが家庭に広がりました。郊外に家建てて暮らす家族も増えます。映画の明るい町並みは、こうした「豊かになっていく時代」のイメージです。

補足：当時のアメリカには人種差別や、男女の役割に対する固定観念など大きな問題もありました。映画に描かれる明るい町並みだけが1950年代のすべてではない、という視点を中学生には添えると、メディアリテラシーの学習にもつながります。

② ロックンロールが若者文化を変えた

1950年代半ばは、ブルースやリズム・アンド・ブルースなどアフリカ系アメリカ人の音楽をルーツにしたロックンロールが、若者の間で一気に広まった時代です。チャック・ベリーやエルヴィス・プレスリーが代表的な存在です。

映画のクライマックス近く、マーティは1955年のダンスパーティーでチャック・ベリーの「ジョニー・B・グッド」を演奏します。この曲がレコードとして発表されたのは**1958年**で、1955年にはまだ世に出ていない曲です。映画はこの「時代のずれ」そのものを笑いにしています。

発問例：「マーティが1955年に、まだ世の中になかった曲を演奏したら、その曲は誰が作ったことになる？」
——タイムパラドックスを考える入り口として使えます。

③ テレビが家庭の娯楽になっていく

1950年代はテレビが急速に普及した時代です。映画の中でも、1955年の家族がテレビを囲んで食事をする場面や、マーティの「未来の知識」が通じない場面に、時代の差が表れています。

6 同じころの日本

JAPAN | 1955 & 1985

映画の「過去」と「現在」は、日本では昭和30年と昭和60年にあたります。子どもには「おじいちゃん・おばあちゃんが子どもだったころ」「お父さん・お母さんが子どもだったころ」と説明すると距離が縮まります。

項目	1955年（昭和30年）の日本	1985年（昭和60年）の日本
社会	戦後の復興が進む。翌1956年の経済白書に「もはや戦後ではない」という言葉が登場	豊かな消費社会。電電公社が民営化されNTTに（4月）
経済	高度経済成長が始まろうとする時期	経済大国として存在感。9月にプラザ合意、その後円高が進む
家庭の電化	テレビ放送は1953年に始まったばかり。白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫は「あこがれ」	カラーテレビ・ビデオなど多様な家電が生活に定着
子どもの遊び	外遊び、紙芝居、漫画、ラジオ	ファミコン（1983年発売）、テレビアニメ、漫画
科学・未来	新しい技術で暮らしが便利になることへの期待	つくば科学万博（3～9月）で「未来の暮らし」に注目

※表は時代の大きな傾向をまとめたものです。実際の暮らしには地域や家庭による違いがありました。

注意：1985年の公開とバブル経済を直接結びつけないようにしましょう。プラザ合意（1985年9月）のあと円高が進み、バブル経済は1980年代後半にかけて本格化していきます。「1985年はバブルの真っ最中」と説明すると不正確です。

7 映画の設定を読む

SETTINGS

タイムマシン「デロリアン」

タイムマシンは、実在した自動車「デロリアン（DMC-12）」を改造したものという設定です。ドアが上に開くステンレスの車体は、1985年の観客の目にも未来的に映りました。映画のルールでは、時速88マイル（約141.6km）に達すると時間を移動します。もちろんこれは**映画の中のルール**で、現実の車では起こりません。

時計台と雷——「時間制限」をつくる仕掛け

1985年に戻るには、決まった日時に時計台に落ちる雷のエネルギーが必要です。この設定によって、物語に「雷が落ちるまでに準備を終える」「それまでに両親を結びつける」という2つのタイムリミットが生まれます。時計台は単なる背景ではなく、**時間そのものを目に見える形にした装置**といえます。

「家族写真」で歴史の変化を見せる

両親の出会いがうまくいかなくなると、マーティが持っている家族写真から兄や姉の姿が少しずつ消えていきます。難しい説明をせずに「未来が変わりかけている」ことを一目で伝える、映像ならではの工夫です。

発展問題：「もしマーティが過去で何もしなかったら、未来はどうなった？」「過去を変えると今の自分は消えてしまう？」——正解のない問いとして、グループで理由を出し合います。

8 監督・脚本・製作の人たち

FILMMAKERS

ロバート・ゼメキス（監督・脚本）

1952年、アメリカ・イリノイ州シカゴ生まれ。南カリフォルニア大学（USC）で映画を学び、在学中に作った短編『Field of Honor』が学生アカデミー賞を受賞して、スピルバーグの目にとまりました。1978年『抱きしめたい（I Wanna Hold Your Hand）』で長編監督デビュー。1984年『ロマンシング・ストーン 秘宝の谷』のヒットを経て、本作で世界的に知られる監督になります。その後『ロジャー・ラビット』（1988年）、1994年公開の『フォレスト・ガンプ／一期一会』でアカデミー賞監督賞を受賞しました（授賞式は1995年）。

作り方の特徴：長いセリフで説明する代わりに、時計台・家族写真・音楽・服装といった「目に見えるもの」で状況を伝えるのが得意です。授業では「言葉を使わずに伝える工夫」を探させると、映像表現の学習になります。

ボブ・ゲイル（脚本・製作）

USCでゼメキスと出会い、共同で脚本を書き続けてきた相棒です。本作の着想は、ゲイルが実家で父親の高校の卒業アルバムを見つけ、「同じクラスだったら、自分は父と友だちになっていただろうか」と考えたことがきっかけの一つとされています。

スティーヴン・スピルバーグ（製作総指揮）

『ジョーズ』『E.T.』の監督。本作は彼の会社アンブリン・エンターテインメントが手がけ、製作総指揮として若いゼメキスとゲイルを支えました。アンブリン作品では同じ1985年の夏に『グーニーズ』も公開されています。

役割	主な仕事
脚本家	物語・登場人物・セリフ・場面の順番を考える
監督	俳優の演技、カメラの位置、場面の見せ方を決めて全体を指揮する
製作（プロデューサー）	お金・撮影日程・スタッフなど、映画を完成させる体制を整える
編集	撮影した映像をつなぎ、物語の流れとテンポをつくる
作曲家	音楽で気持ちや場面の雰囲気を表す

9 主要キャスト

CAST

マイケル・J・フォックス（マーティ・マクフライ）

1961年、カナダ・アルバータ州エドモントン生まれ。10代でプロの俳優として活動を始め、アメリカのテレビドラマ『ファミリー・タイズ』のアレックス役で人気者になりました。本作の撮影中もドラマの仕事を続けており、**昼はテレビ、夜は映画**という生活で撮影に臨みました。撮影当時23歳で、高校生役を演じています。

1991年、29歳のときにパーキンソン病と診断され、1998年に公表。2000年には研究を支援する財団を設立し、病気への理解を広める活動を続けています。

クリストファー・ロイド（ドク）

1938年、アメリカ・コネチカット州生まれ。舞台で経験を積み、1975年の『カッコーの巣の上で』で映画デビュー。大きく見開いた目、早口、急に大きくなる身ぶりで、発明に夢中な科学者ドクを印象的に演じました。

リー・トンプソン（ロレイン）

1961年生まれ。1955年の高校生と、特殊メイクをした1985年の母親の両方を演じています。後年は映画監督としても活動しています。

クリスピン・グローヴァー（ジョージ）

1964年生まれ。気弱な高校生ジョージを、姿勢・視線・声の出し方で表現しました。実は、父親役のグローヴァーは息子役のフォックスより年下です。

トーマス・F・ウィルソン（ビフ・タネン）

1959年生まれ。俳優・コメディアン。ジョージをいじめるビフを演じ、立ち方や話し方だけで相手を怖がらせる人物像をつくっています。

観察の視点：「ジョージは物語の前半と後半で、姿勢や声はどう変わった？」——セリフだけでなく体全体で性格を表す、俳優の仕事に目を向けさせます。

10 制作の裏話

BEHIND THE SCENES

① 最初のマーティは別の俳優だった

撮影開始時のマーティ役はエリック・ストルツでした。しかし5～6週間ほど撮影したところで、監督は「この役にはもっと軽快な笑いが必要だ」と判断し、スピルバーグとも相談して、最初から希望していたマイケル・J・フォックスに交代しました。撮影済みの多くの場面が撮り直しとなり、アメリカでの公開日も6月21日から7月3日に延びています。

② タイムマシンは「冷蔵庫」になる案もあった

初期の脚本では、タイムマシンは冷蔵庫でした。しかし子どもがまねをして冷蔵庫に閉じこもる危険があるとスピルバーグが心配し、自動車に変更されました。車にしたことで、時間移動そのものをスピード感のあるアクションとして描けるようになりました。

③ 題名が変わっていたかもしれない

配給会社の幹部が、別の題名（「冥王星から来た宇宙人」という意味の題名）を提案したことがあったと伝えられています。制作陣はこれを受け入れず、今の題名が残りました。

④ 音楽も物語を語る

主題歌のひとつヒューイ・ルイス&ザ・ニュースの「The Power of Love」はアメリカのヒットチャート1位になり、アカデミー賞歌曲賞にもノミネートされました。ヒューイ・ルイス本人も、マーティのバンドを審査する先生役でちらりと出演しています。

11 発問とワークシート

QUESTIONS

タイミ ング

発問

見る前	30年前の世界に行けたら、何を見てみたい？／今の自分が1955年に行ったら、何をめずらしがられる？／過去を変えると、未来も変わると思う？
見てい る間	1955年と1985年で、服装・音楽・町の様子は違う？／マーティの行動で、まわりの人に何が起きた？／時計台の場面で、ドキドキはどうやってつくられている？
見た後	いちばん心に残った場面と、その理由は？／ジョージはどこで変わった？／自分の未来をよくするために、今日からできることは？

ワークシート：時代のちがいをを見つけよう

1. 1955年の服装・かみがた	
2. 1955年の音楽・遊び・お店	
3. 1985年とくらべて、ちがうもの	
4. 30年後の自分の町は、どうなっていると思う？	
5. この映画から考えたこと	

12 授業の進め方とまとめ

LESSON FLOW

時間	活動	ポイント
10分	導入：30年前を想像する	車・テレビ・音楽・服装の「昔と今」を予想させる
視聴	観察：映画の中の時代を探す	ワークシートに気づいたことを記録。抜粋視聴でも可
15分	考察：原因と結果を考える	「マーティの行動→何が変わった？」をグループで整理
10分	まとめ：自分の生活とつなぐ	ジョージの変化と、自分にできることを短い文章に

視聴上の配慮：本作は日本の映倫区分でPG12です。冒頭にドクが銃で撃たれる場面、ダンスパーティー前に車内でビフがロレインに乱暴しようとする場面などがあります。小学生に見せる場合は、事前に全編を確認し、場面の選択や声かけを準備してください。

最後にもう一度、最初の問いに戻ります。「**未来を変えるのに、タイムマシンは本当に必要？**」——マーティはタイムマシンで過去に行きましたが、家族の未来を変えたのはジョージ自身の勇気でした。私たちは時間を戻すことはできなくても、今日の選択で、これからの未来を変えていくことができます。

+ 事実確認メモと参考情報

REFERENCES

本ガイド作成時に、元原稿（AI生成）から次の点を修正しました。授業で使う他の資料にも同じ誤りがないか確認してください。

- スピルバーグのクレジット：「製作」ではなく「製作総指揮」。製作はボブ・ゲイル、ニール・キャントン。
- ゼメキスのアカデミー監督賞：『フォレスト・ガンブ』は1994年公開、受賞（授賞式）は1995年。
- 主役交代：エリック・ストルツの撮影期間は資料により約5～7週間。公開日が6月21日から7月3日に延期。
- 日本公開日：1985年12月7日。

参考：公式サイト backtothefuture.com（1985年の制作資料・スタッフ紹介）、アメリカ映画協会（AFI）カタログ、Amblin Entertainment 作品紹介、マイケル・J・フォックス財団 公式プロフィール ほか。2026年10月確認。